

しに、父の云やふ、今迄男になりたるは不存しが、此女生れし時、淫戸の上に少はれたることく小  
 き物有しが、年ゆきてさらに不存候、兩度迄出されしを何故と存候つるが、かやうのことにても  
 候半かと申に、其女に問れしかば、父が申ごとく、いつしか年たくるに、またがひ、男根となり、近ご  
 ろは淫戸彌通じなくなり候と申しかば、さらば養ひて婿とすべし、男子に變ずるは吉瑞なりと  
 て、賜ものありしとぞ、奇異なる事とて、其國の人の語しとぞ、漢京房易侍女化して丈夫と成られ  
 しを陰昌と云、竹書紀年、殷紂の時、女化して男となる、漢晉宋明にその事有、男の子を生得るも宋  
 明にありしとぞ、白石の鬼神論に見えたり、誠に怪力亂神の説にこそ、

〔變生男子之説上〕

牛込若宮町清五郎店又藏娘

さと

當卯十五歳

右さと儀、去寅年七月中、市谷田町三丁目家主名前手蹟指南秀鍛堂遊山事よしと申者方へ奉公  
 ニ差出置、當三月中暇を取、又藏手元に差置候處、さと儀、變生男子に相成候趣、風聞事實取調候處、  
 父又藏儀ハ、遠州城東郡掛川在出生、母さよ儀ハ、相州平塚郷馬渡村出生の由ニ而、十六七年以前  
 より、右若宮町清五郎店ニ住居仕、元ハ時々物賣候て在之處、當時居酒渡世致し、家内四人暮し  
 にて、娘さと儀ハ十五ヶ年以前、天保十二丑年出産致し、尤同人は總領にて、二男は松之助と申、當  
 年八歳相成候、弟有之、娘さと儀、十一歳の頃より、夜歩行又ハ力業杯いたし、常々女子と違ひ、立居  
 振舞等至て荒々敷、生得男子の様成氣質に有之處、去寅年七月中、前書秀鍛堂よし方江奉公ニ差  
 出候處、同人方ニ門弟子にて、十五六歳に相成候、まさと申者寢所江、又藏娘さと儀、兩度迄罷越、密  
 通可致と内々申ける故、まさ儀納得不致、女ニて右様之儀仕掛候ハ不審に心得、かのまさ事、師匠  
 よし江委細相咄し候ニ付、さとの臥り居候節、夜著をまくり見候處、常々女子とのみ存居候さと  
 儀、男根有之候間、驚入、同人江様子相尋ね候處、十一二歳の頃ハ男根相催し、兩三年前より男ニ